

遠隔臨場システム Gリポート

管理者マニュアル



第 1.2 版

株式会社 GRIFFY

エコモット株式会社

(共同開発 株式会社中山組)

目次

1.	初めに.....	2
1.1.	管理者機能でできる事.....	2
1.2.	管理者アカウントと現場アカウント.....	3
2.	利用の準備を始める.....	4
2.1.	現場アカウントの作成.....	4
	シンフォニープラス連携をご利用の場合.....	6
2.2.	端末のアクティベーション.....	7
2.3.	現場に端末を割り当てる.....	9
3.	運用する.....	11
3.1.	臨場に参加する.....	11
3.2.	現場の記録データにアクセスする.....	12
3.3.	二段階認証を導入する.....	13
3.4.	現場アカウントのログインパスワードを確認する.....	26
3.5.	現場アカウントを削除する.....	27
3.6.	端末の割り当てを変更する.....	29
3.7.	端末を追加導入するとき.....	31
3.8.	端末を返却するとき（故障や交換など）.....	31

1. 初めに

本マニュアルは、「Gリポート一括運用システム（以下、本システム）」における、管理者アカウントを用いた各種機能についての利用方法を説明するためのものです。

通常の遠隔臨場の利用方法に関しては、本マニュアルでは取り扱いませんので、別冊の「Gリポートユーザーマニュアル」を参照ください。

1.1. 管理者機能でできる事

本システムでは、管理者用の機能として以下の機能があります。

- 現場アカウント管理機能
- 端末管理機能
- 遠隔臨場機能

これらの機能では、管理者の特権として現場利用者では使用できない以下の設定操作を行うことができます。

機能名	できること
現場アカウント管理機能	<ul style="list-style-type: none">・現場アカウントの作成・現場アカウントの編集（パスワードの変更など）・現場アカウントの削除
端末管理機能	<ul style="list-style-type: none">・端末のアクティベーション（利用登録）・端末名称の変更
遠隔臨場機能	<ul style="list-style-type: none">・全現場への遠隔臨場の参加・全現場のデータ参照

1.2. 管理者アカウントと現場アカウント

弊社から出荷した際に同梱している「設定完了通知書」に記載しているログイン情報（以下、アカウント情報）で本システムにログインすると、管理者アカウントとしてログインする事ができます。

また、管理者により作成された現場アカウント情報でログインすると、現場アカウントとしてログインする事ができます。

管理者アカウントは主に、本社や支社などで、現場全体の管理を行う目的で利用するアカウントとして、また、現場アカウントは、現場事務所や発注（検査）者で利用するアカウントとして利用するために用意されているものです。

それぞれ、利用シーンが異なりますので、使える機能や範囲にも以下のような違いがあります。

機能	管理者アカウント	現場アカウント
遠隔臨場	全現場への参加が可能	対象の現場のみ参加が可能
データ参照	全現場に対して可能	対象現場のみ可能
端末アクティベーション	○	×
現場アカウント作成	○	×
現場への端末割り当て設定	○	×

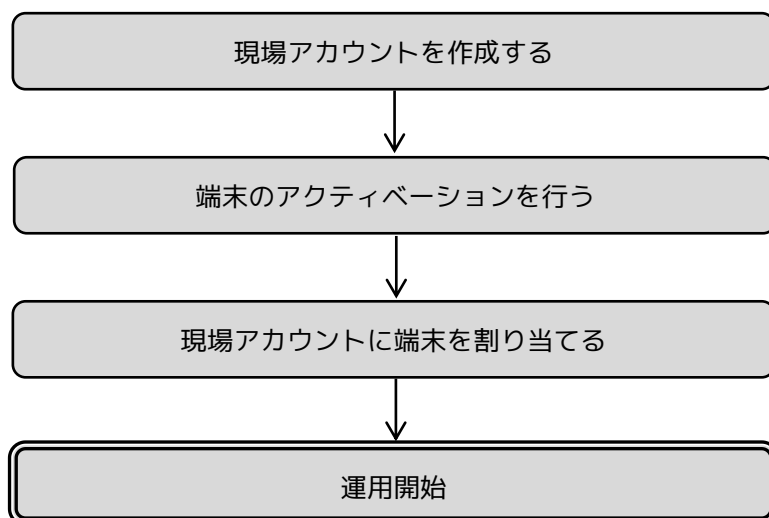
【重要】

管理者アカウントについては、全現場のデータを参照することができますので、発注者や他社などへの共有はしないように、アカウント情報（ログイン ID・ログインパスワード）の管理については、十分にご注意ください。

2. 利用の準備を始める

本システムを利用するための設定を、以下の流れで行っていきます。

※現場アカウントの作成と端末のアクティベーションは、どちらを先に行っても問題ありません。



2.1. 現場アカウントの作成

Gレポートを利用する現場の専用アカウントを作成します。

作成した現場アカウントの情報は、現場で遠隔臨場を実施する方や、発注者（検査者）の方と共有して使用します。



画面左側に表示されている管理メニューより、「現場アカウント管理」を選択します。



画面上部にある「新規」ボタンを押下します。

現場専用の情報を入力して画面右下の「登録」ボタン押下し、情報を登録します。

- 「現場名」
- 「ログイン ID」
- 「ログインパスワード」

ログイン ID、ログインパスワードは、現場の方や発注者（検査者）の方がシステムにログインする際に使用しますので、間違いのないようにメモしておきましょう。

ログイン認証に、二段階認証を導入することができます。
詳細は、「[3.3 二段階認証を導入する](#)」を参照ください。

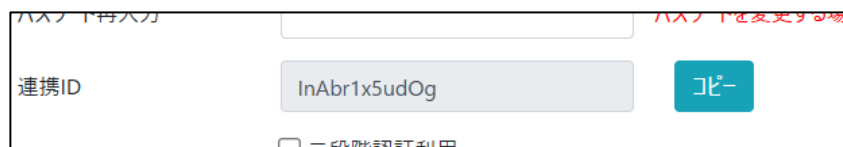
シンフォニープラス連携をご利用の場合

Gリポートご利用の申し込み時に、福井コンピュータ社のシンフォニープラスとの連携を指定頂いているお客様の場合、現場アカウント作成時に自動発行された連携コードが表示されます。

「コピー」ボタン押下で、連携コードをコピーすることができます。



作成済みの現場で使用している連携コードを再確認する場合は、確認したい現場アカウントの編集画面を開くことで、連携コードの確認を行う事ができます。



項目の右側にある「コピー」ボタン押下で、連携コードのコピーができます。

2.2. 端末のアクティベーション

エコモットより発送された端末を起動すると、以下の様にアクティベーションコードが画面に表示されます。端末を利用するためには、まずアクティベーションコードを入力して利用登録をする必要があります。ここではその手順について説明します。



左記で表示されているアクティベーションコードはアクティベーション画面で入力します。

アクティベーションを行わない限り、「OK」ボタンを押しても遠隔臨場することはできません



管理メニューにある「端末管理」を選択します。



画面右上にある「アクティベーション」ボタンを押下します。

遠隔臨場システム 取扱説明書 ▾ パスワード変更 ログアウト

📷 端末アクティベーション **GRIFFY**
電話-リース購入のサポート
011-558-6601

端末の画面に表示されたアクティベーションコードを入力してください。

アクティベーションコード

端末名称

端末シリアル番号

絞り込み入力が可能

- アクティベーションコード
端末に表示されているアクティベーションコードを入力します。
- 端末名称
この端末につける固有名称を入力します。
- 端末シリアル番号
端末の裏側に貼付されているリース資産票に記載されている管理番号を選択します。
上記イメージの赤枠部分にキーワードを入力すると、選択項目の絞り込みができます。

エコモット株式会社	
型名	Gリポート用スマートフォン (android)
管理番号	QV7200XU1Y
IMEI	356094100296238

上記情報を入力後、「アクティベーション」ボタンを押下します。
ブラウザで「アクティベーション」ボタン押下後、スマートフォンの画面に表示されている「OK」ボタンをタップします。

この時点ではまだ端末は起動できません。

「[2.3 現場に端末を割り当てる](#)」を参考に、割り当てを行ってから起動します。

2.3. 現場に端末を割り当てる

ここまでの手順で、現場アカウントを作成し、端末のアクティベーションを行いました。

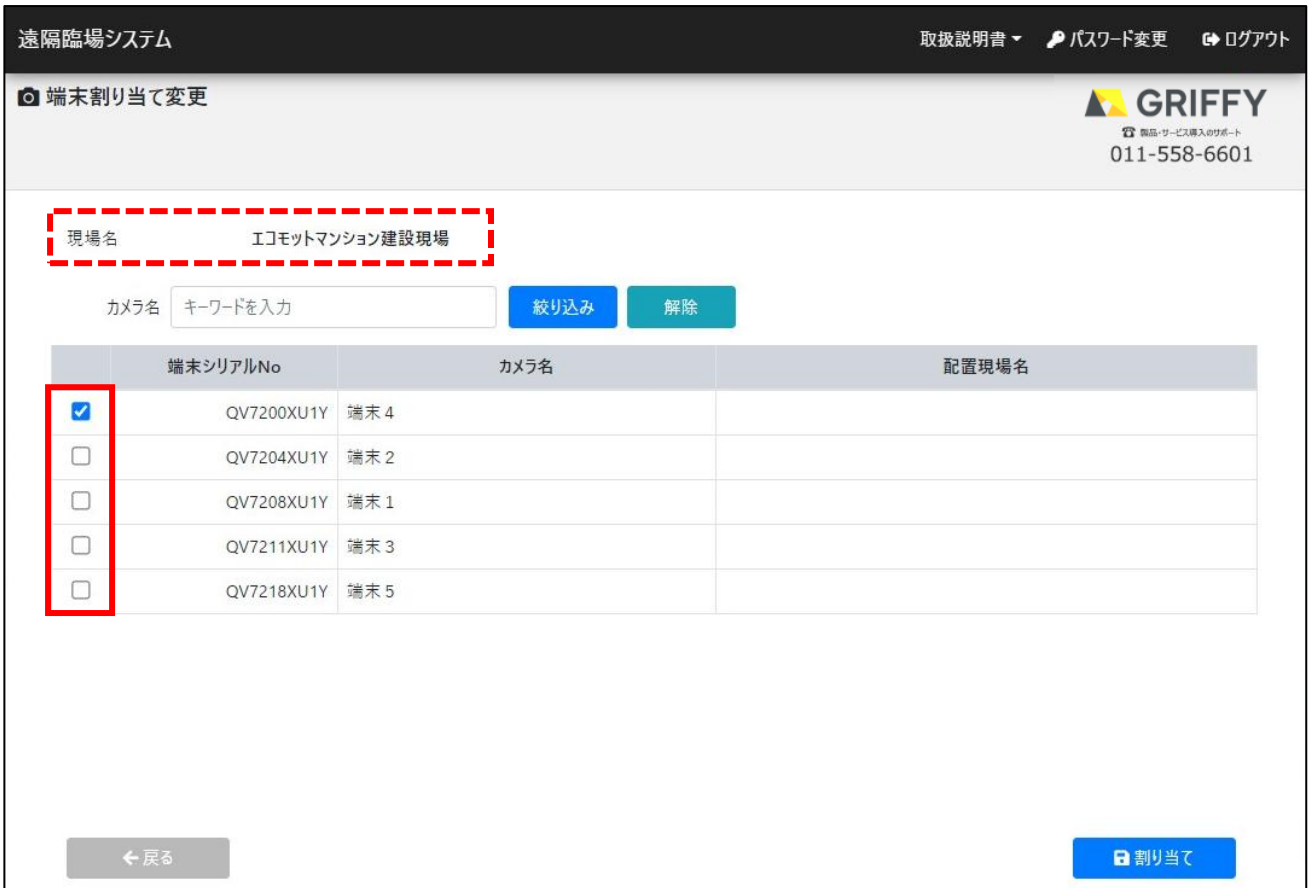
ここでは、アクティベーション済みの端末を現場アカウントへ割り当てる手順について説明します。



画面左の管理メニューより、「現場アカウント管理」を選択します。



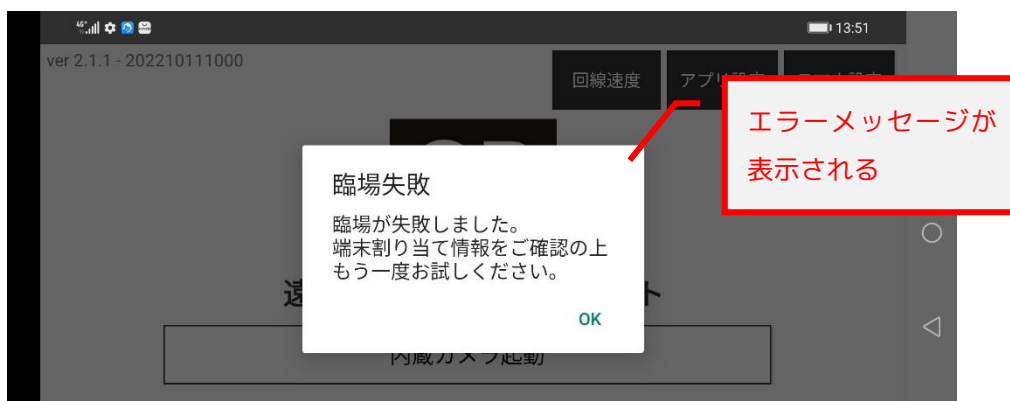
割当の対象となる現場を1つ選択後、画面上部にある「端末割当」ボタンを押下します。



画面に表示されている現場（上記イメージ点線赤枠部分）に割り当てる端末をチェックします。端末のチェックは複数に入れることが可能です。

チェックを入れた後は、画面右下の「割り当て」ボタンを押下します。

現場への割り当てを行っていない端末を起動すると、以下の様に画面にメッセージが表示され、遠隔臨場を開始できません。そのため、現場への割り当てを行ってから「カメラ起動」ボタンを押下するようにしてください。



3. 運用する

3.1. 臨場に参加する

管理者が、現場を選択して臨場に参加したり、データを参照するためには、画面左側のメニューにある「遠隔臨場」メニューより操作を行います。

遠隔臨場や、記録データの参照の詳細については、ユーザーマニュアルの方に詳細を記載していますので、詳細を確認したい場合はそちらを参照ください。



「遠隔臨場」メニューを選択すると、これまで作成した現場の一覧が表示されますので、その中から目的の現場の「選択」ボタンを押下します。



割り当てられているカメラの台数に応じた「臨場」ボタンが表示されますので、利用する端末の「臨場」ボタンを押下します。

管理画面に戻る場合は、画面左下の「管理画面へ戻る」ボタンを押下します。

3.2. 現場の記録データにアクセスする

現場で記録したデータは、各現場アカウント毎に集約されて記録されています。

そのため、現場の記録データにアクセスする場合はまず「[2.4 臨場に参加する](#)」の手順で、目的の現場アカウントの画面を表示する必要があります。



The screenshot shows the GRIFFY web interface. At the top, there is a navigation bar with the following items: 遠隔臨場システム Gリポート, カメラ一覧, 動画確認, 静止画確認, 取扱説明書, パスワード変更, and ログアウト. The '動画確認' and '静止画確認' links are highlighted with a red box. Below the navigation bar, there is a section titled 'カメラ一覧' with the instruction 'カメラを選択してください。'. On the right side of this section, the GRIFFY logo and contact information (011-558-6601) are displayed. Below this is a table with the following structure:

	カメラ名	自動録画	写真日付なし
<input type="checkbox"/>	端末 2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	端末 4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

現場アカウントの画面を表示すると、画面上部に「動画確認」と「静止画確認」のリンクがあるので、参照したいリンクをクリックします。

3.3. 二段階認証を導入する

本システムではセキュリティ強化のため、二段階認証を有効にして利用することができます。

二段階認証の設定は、管理者アカウントで行うことができます。

二段階認証には、「Google Authenticator」というスマートフォンアプリを利用して行います。

そのため、本システムに個人の情報（電話番号やメールアドレス）等を登録する必要がありません。

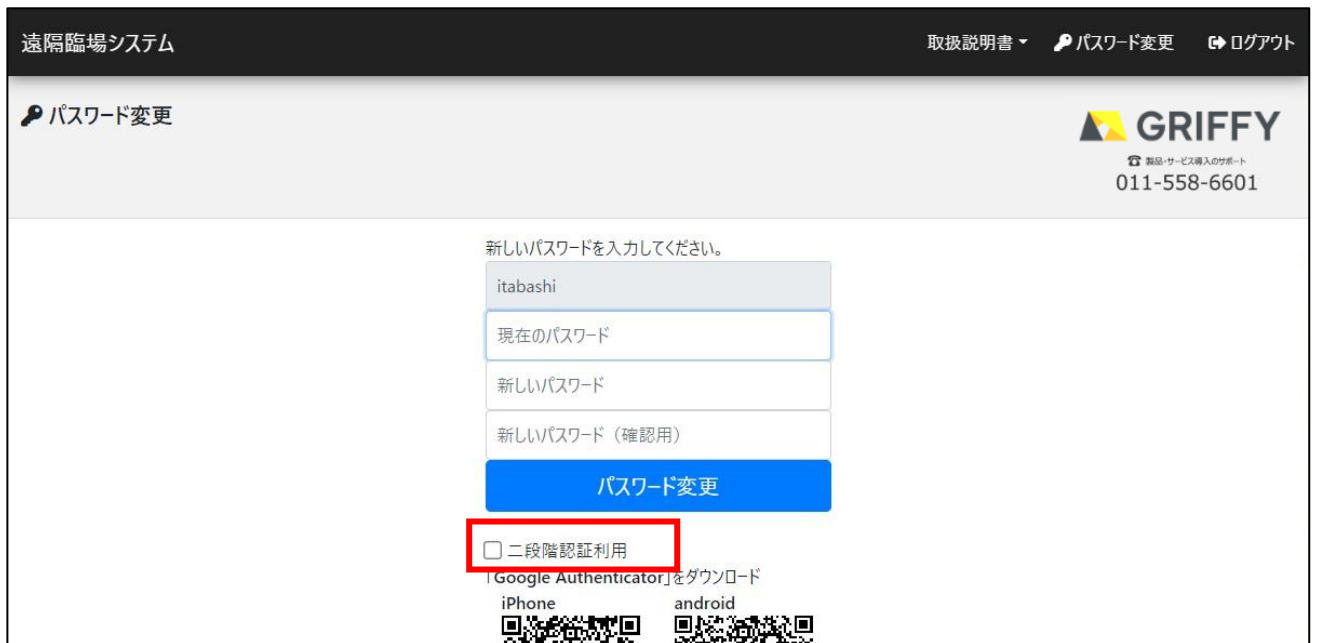
以下のQRコードを読み込むと、Google Authenticator のダウンロードサイトにアクセスできます。

iPhone 用	Android 用
	

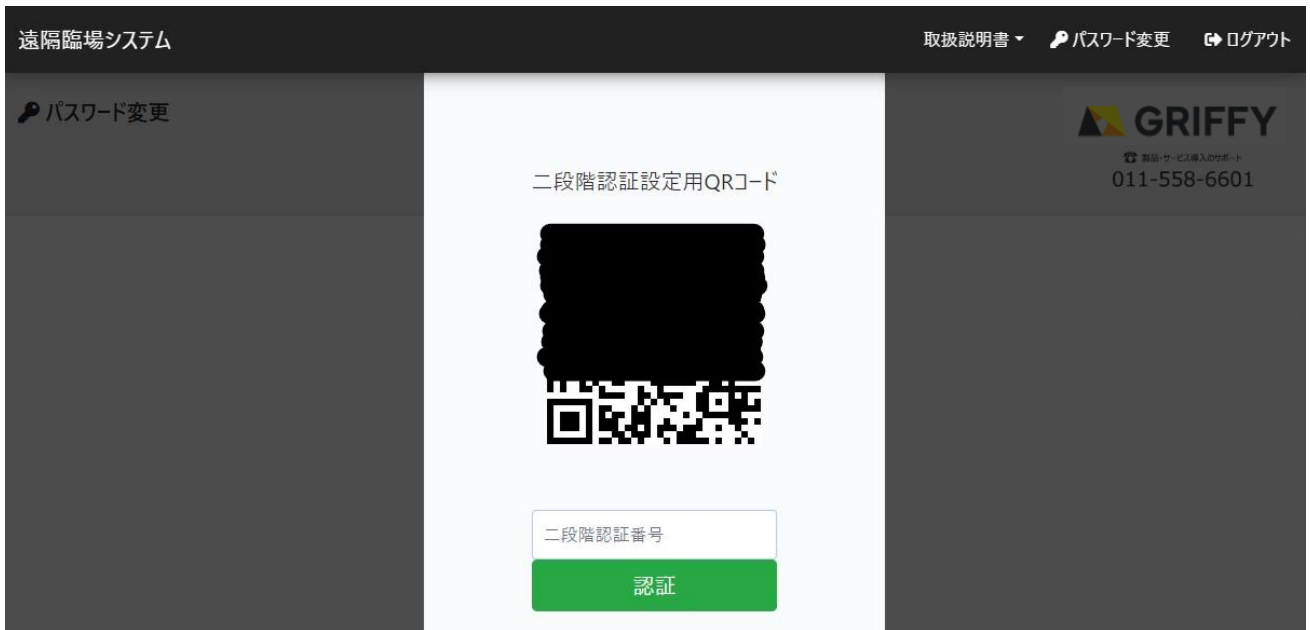
上記ダウンロードサイトより、お手持ちのスマートフォンへ Google Authenticator のダウンロード・インストールを行ってください。

1.管理者アカウントに二段階認証を導入する

管理者アカウントでログインし、画面上部にある「パスワード変更」をクリックします



パスワード変更画面にある、上記赤枠のチェックボックスにチェックを入れます。



二段階認証の設定に使用する QR コードが表示されます。

この状態で、お手持ちのスマートフォンにインストールした Google Authenticator を起動し、設定の追加を行います。(「4. Google Authenticator に二段階認証の設定を新規追加する場合」を参照)

最後に、設定画面に表示されている「設定変更」ボタンをクリックして設定を反映させます。



以上で管理者アカウントの設定は完了です。

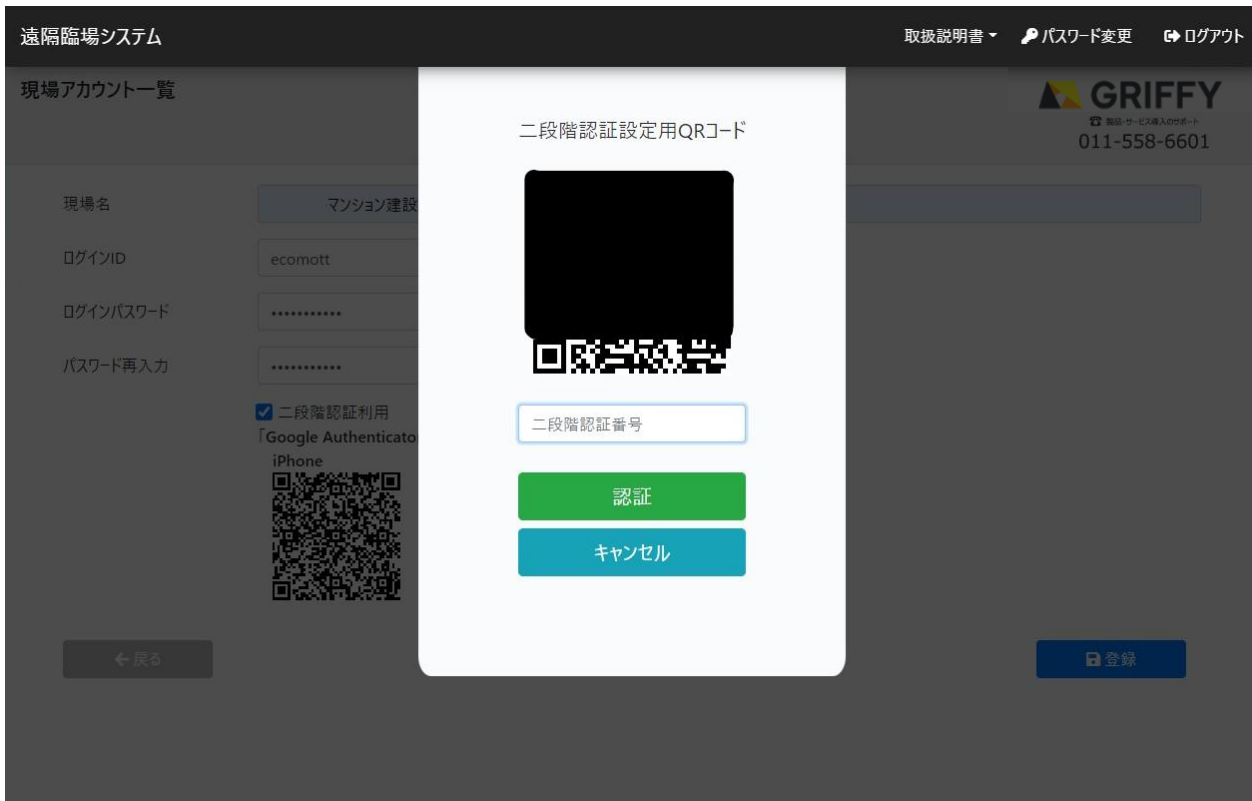
2.現場アカウントに二段階認証を導入する

現場アカウントに二段階認証を導入するには、管理者アカウントでログインし、現場アカウント管理機能を利用して設定を行います。

●現場アカウント新規作成時

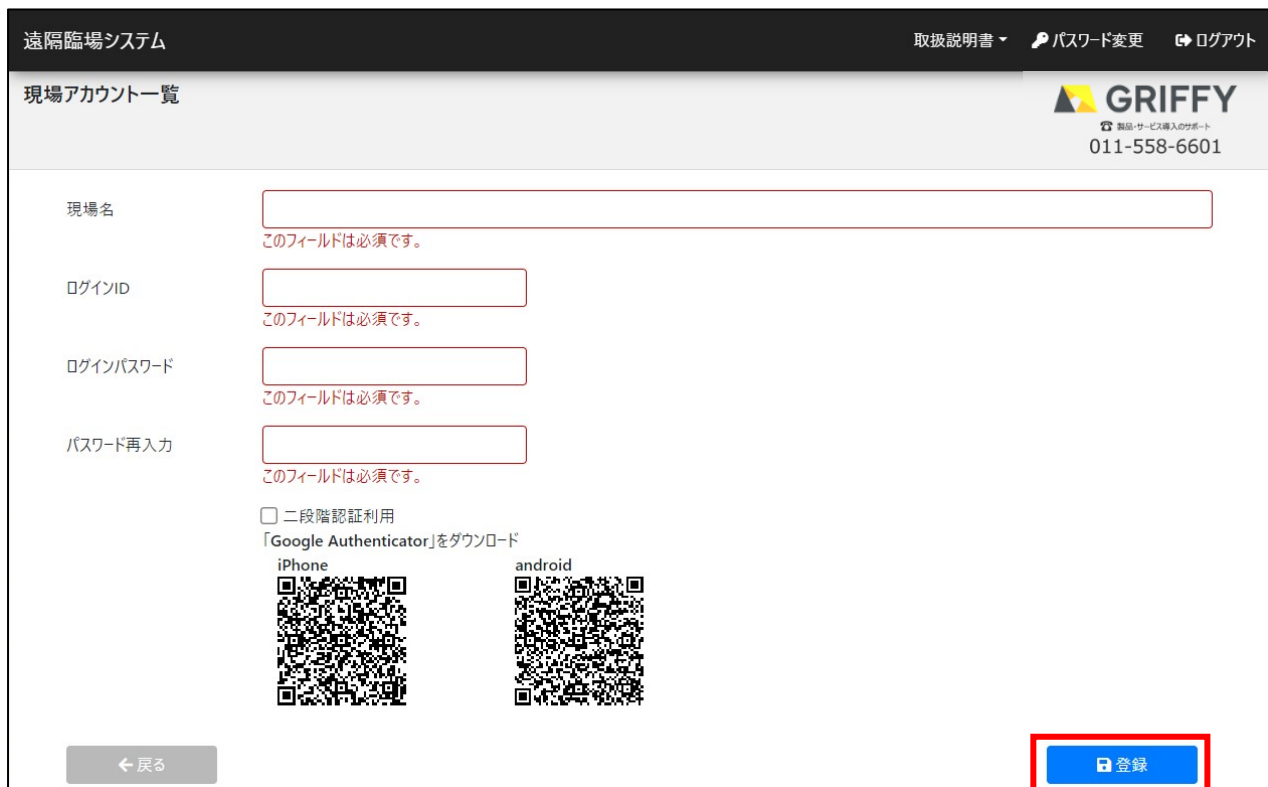
現場アカウントの新規作成時に設定する場合、現場アカウント機能の新規登録画面で設定することができます。

現場名、ログイン ID、ログインパスワードを設定後、「二段階認証利用」のチェックボックスにチェックを入れます。



二段階認証の設定に使用する QR コードが表示されます。

この状態で、お手持ちのスマートフォンにインストールした Google Authenticator を起動し、設定の追加を行います。(「4. Google Authenticator に二段階認証の設定を新規追加する場合」を参照)



最後に、「登録」ボタンを押下します。

●現場アカウント変更時（既存の現場アカウントの編集）

現場アカウントの編集時は、現場アカウント一覧で編集対象を選択後、新規登録時同様に「二段階認証利用」チェックボックスにチェックを入れ、二段階認証設定用 QR コードを Google Authenticator で読み取って設定します。（「4. Google Authenticator に二段階認証の設定を新規追加する場合」を参照）

3.二段階認証設定の解除

二段階認証の利用を中止する設定方法に関して説明します。

●管理者アカウントの場合

画面上部にある「パスワード変更」をクリックします

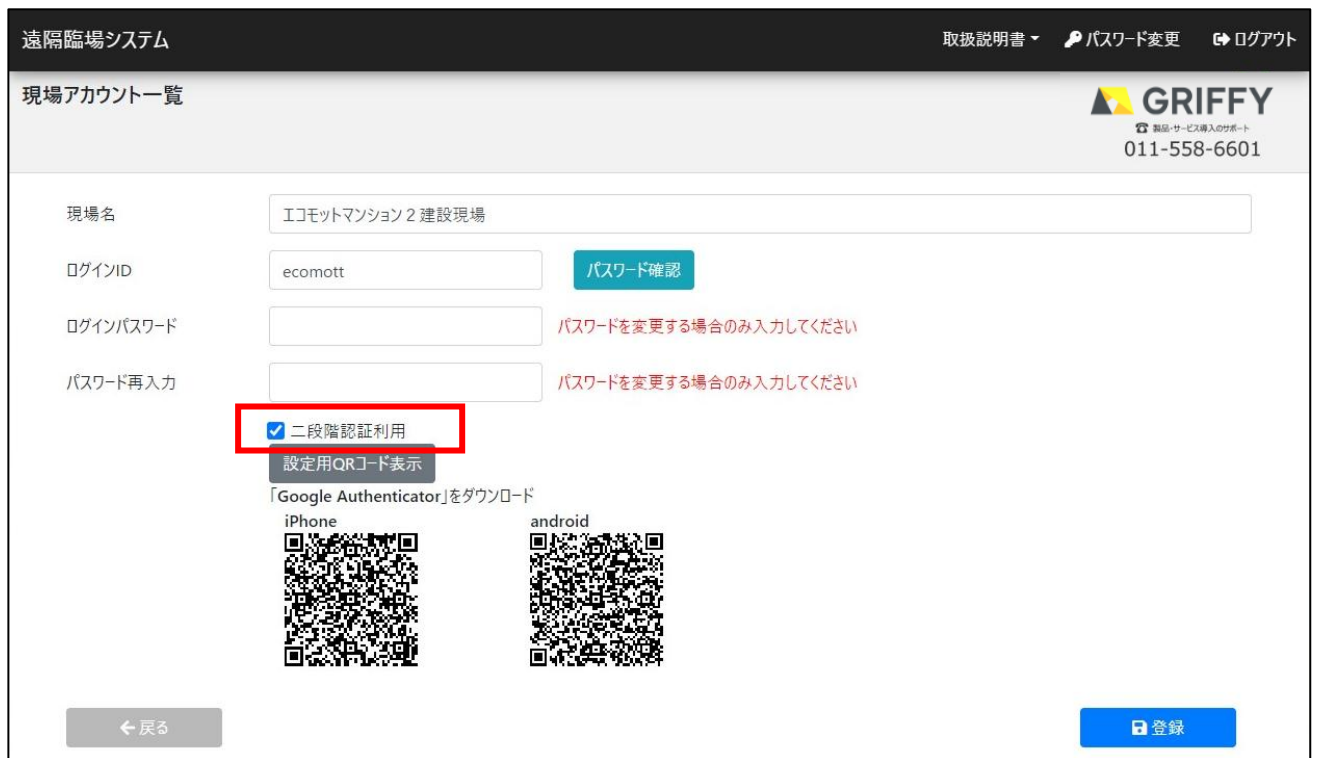


パスワード変更画面中央にある「二段階認証利用」チェックボックスのチェックを外し、「設定変更」ボタンを押下します。

●現場アカウントの場合

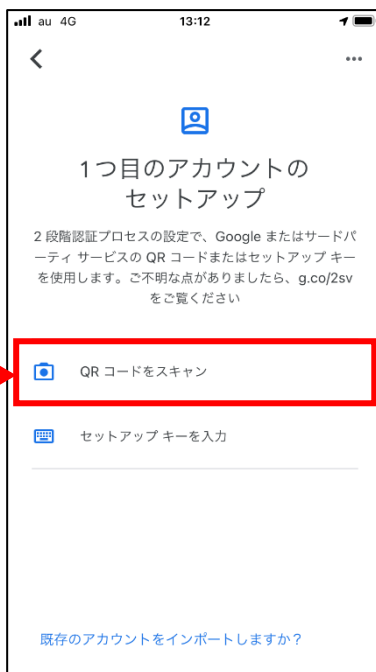


メニューから「現場アカウント管理」を選択後、二段階認証を解除する現場を選択して、「編集」ボタンを押下します。



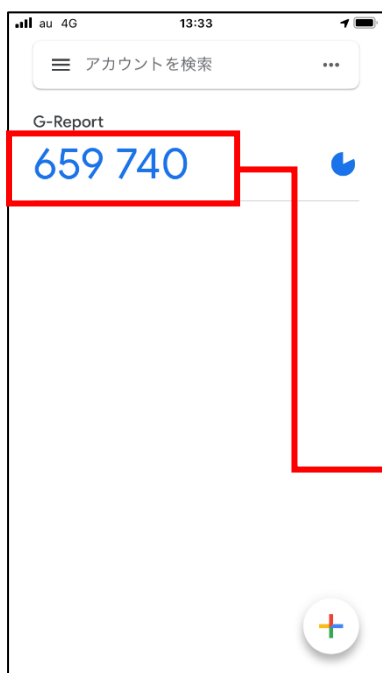
画面中央にある「二段階認証利用」のチェックボックスを外し、画面右下の「登録」ボタンを押下して、設定を保存します。

4. Google Authenticator に二段階認証の設定を新規追加する場合



起動後の画面にて、赤枠で囲っている「開始」ボタンをタップします。

「1つ目のアカウントのセットアップ」画面で、「QRコードをスキャン」を選択し、カメラを起動します。

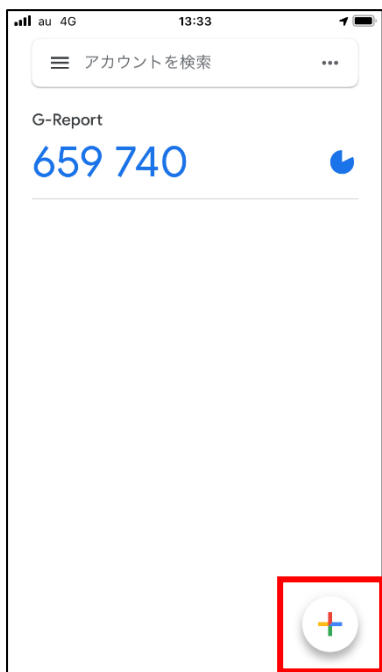


起動したカメラで、ブラウザに表示されている二段階認証設定用 QRコードを読み込むと、6桁のワンタイムパスワードが表示されます。この番号を、QRコードの下に表示されている「二段階認証番号」の欄に入力し、「認証」ボタンを押下します。

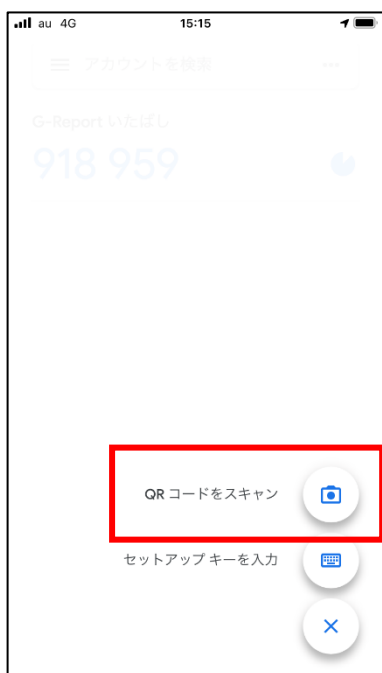


5. Google Authenticator に二段階認証の設定を追加で登録する場合

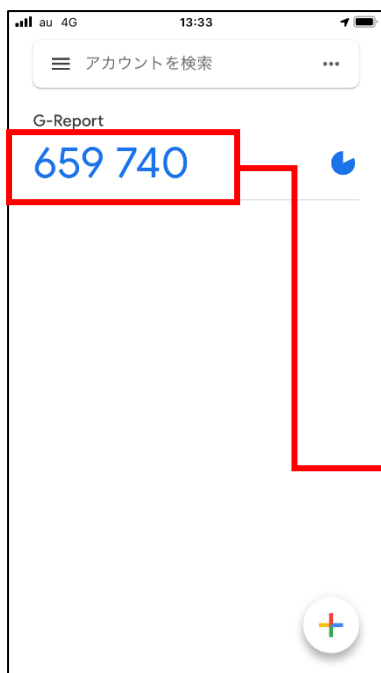
既に Google Authenticator を利用されている場合や、他の G リポートアカウントで利用していて、そこにアカウントを追加登録する際の手順を説明します。



Google Authenticator を起動し、画面右下にある「+」のアイコン（赤枠部分）をタップします。



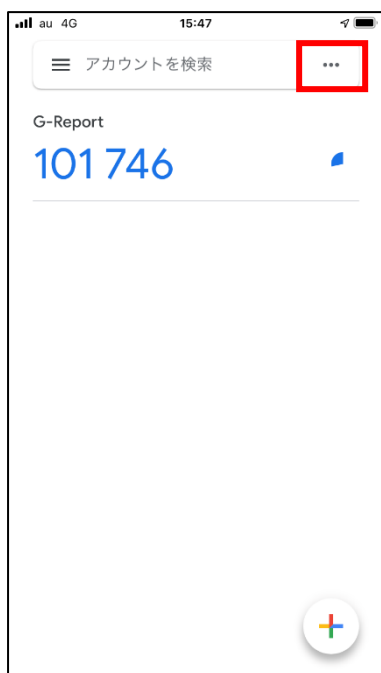
「QR コードをスキャン」をタップしてカメラを起動します。



起動したカメラで、ブラウザに表示されている二段階認証設定用 QR コードを読み込むと、6桁のワンタイムパスワードが表示されます。この番号を、QRコードの下に表示されている「二段階認証番号」の欄に入力し、「認証」ボタンを押下します。



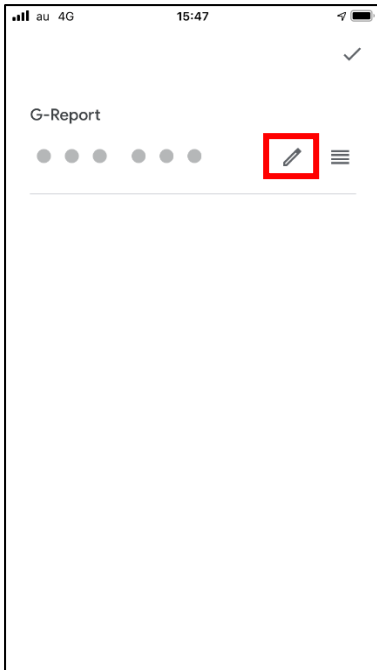
6. Google Authenticator から二段階認証の設定を削除する場合



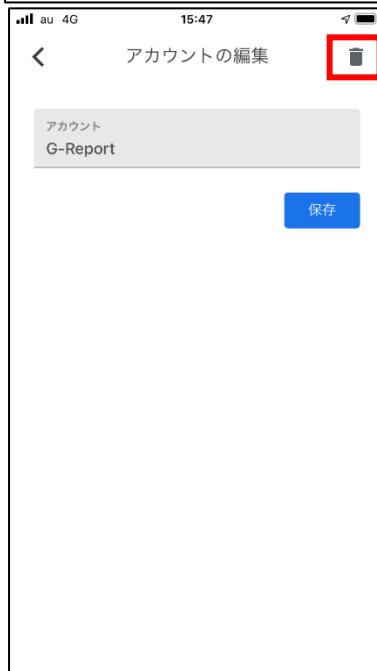
Google Authenticator を起動します。
画面右上にある「…」ボタンをタップします。



表示されるメニューの「編集」を選択します。



削除するアカウントの右側に表示されている鉛筆アイコンをタップします。



画面右上のごみ箱アイコンをタップします。



アカウント削除の確認画面が表示されるので、「アカウントを削除」をタップします。

3.4. 現場アカウントのログインパスワードを確認する

作成した現場アカウントのログインパスワードを忘れてしまった場合、管理者アカウントで現場アカウント情報を確認していただく事で、設定されているパスワードを確認することができます。



「現場アカウント管理」メニューを選択します。



登録されている現場アカウントのリストが表示されますので、確認したい現場アカウントを選択し、画面上部にある「編集」ボタンを押下します。



ログイン ID の右側にある「パスワード確認」ボタンを押下すると、ダイアログで現在設定されているパスワードが表示されます。

3.5. 現場アカウントを削除する

間違っって作成した場合や、すでに終了した現場のアカウントを削除することができます。

なお、**現場アカウントの削除を行うと記録されているデータも同時に削除**されます。

ここで実行される削除は物理削除ですので、**削除されると復旧することができません**。

参照する可能性が少しでもある場合は、**削除せずに残しておくことを強く推奨**いたします。



管理者メニューの「現場アカウント管理」を選択します。



削除対象の現場アカウントを選択後、画面右上の「削除」ボタンを押下します。



現場一覧画面で削除ボタンを押下すると、本当に削除して良いのか確認する画面が表示されます。

記載されている内容に問題がなければ、画面右下の「実行」ボタンを押下します。

なお、**この操作は取り消す事ができません**ので、実行に際しては間違いのないように十分に確認してから実行するようにしてください。

なお、福井コンピュータ社のシンフォニープラスとの連携を行っている場合、アカウントの削除と同時に連携コードの無効化も行われます。そのため、アカウント削除によりシンフォニープラスとの連携も停止されます。

3.6. 端末の割り当てを変更する

既に別な現場に割り当てられている端末を、別な現場に再割り当てすることができます。



画面左の管理メニューより、「現場アカウント管理」を選択します。



現場アカウント一覧より、**再割り当て先**の現場を選択後、「端末割当」ボタンを押下します。

遠隔臨場システム 取扱説明書 ▾ パスワード変更 ログアウト

📷 端末割り当て変更 **GRIFFY**
製品・サービス導入のサポート
011-558-6601

現場名 **エコモットマンション建設現場**

カメラ名 絞り込み 解除

	端末シリアルNo	カメラ名	配置現場名
<input type="checkbox"/>	QV7200XU1Y	端末 4	エコモット本社屋建設現場
<input type="checkbox"/>	QV7204XU1Y	端末 2	
<input type="checkbox"/>	QV7208XU1Y	端末 1	
<input type="checkbox"/>	QV7211XU1Y	端末 3	エコモット本社屋建設現場
<input type="checkbox"/>	QV7218XU1Y	端末 5	エコモット本社屋建設現場

← 戻る 📷 割り当て

再割当先の現場アカウント名

既に別な現場に割り当てられている端末

現在の端末割り当て状況が表示されますので、再割当先の現場アカウントに割り当てる端末にチェックを入れて、画面右下の「割り当て」ボタンを押下します。

遠隔臨場システム 取扱説明書 ▾ パスワード変更 ログアウト

📷 端末割り当て変更 **GRIFFY**
製品・サービス導入のサポート
011-558-6601

現場名 **エコモットマンション建設現場**

カメラ名 絞り込み 解除

	端末シリアルNo	カメラ名	配置現場名
<input checked="" type="checkbox"/>	QV7200XU1Y	端末 4	エコモット本社屋建設現場
<input checked="" type="checkbox"/>	QV7204XU1Y	端末 2	
<input checked="" type="checkbox"/>	QV7208XU1Y	端末 1	
<input type="checkbox"/>	QV7211XU1Y	端末 3	エコモット本社屋建設現場
<input type="checkbox"/>	QV7218XU1Y	端末 5	エコモット本社屋建設現場

← 戻る 📷 割り当て

エコモット本社屋建設現場からエコモットマンション建設現場に配置転換される端末

新規割り当て端末

3.7. 端末を追加導入するとき

端末を追加導入する際は、「[2.2 端末のアクティベーション](#)」の手順を行った後、「[2.3 現場に端末を割り当てる](#)」の手順を行います。

3.8. 端末を返却するとき（故障や交換など）

端末とその付属品（全てが揃っているかをご確認ください）を段ボールなどに梱包し GRIFFY へご返送ください。

返送先がわからない場合は、担当営業までお気軽にご相談ください。